



5月度の  
の御書

# りっしょうあんこくろん 「立正安国論」

意味  
自分の安心や安全を考  
えるなら、あなたはまず  
社会全体の平和を祈るこ  
とが必要ではないでしょ  
うか。

御文  
汝須く一身の安堵を  
思わば先ず四表の静謐  
を禱らん者か  
(御書51ページ)

## 世界の平和も身近な人を大切にする行動から

やあ! ぼくは、ライオン博士のキング君。今月もいっしょに御書を学ぼう!

みんなは「将来の夢」って決まっているかな? スポーツ選手や学校の先生、医師、パティシエ、美容師……きつというんな夢があるよね! 未来を思いうかべると、ボクもワクワクするよ~!

みんなの大成長を祈り、応えんしてくれている創価学会のお兄さんやお姉さん、おじさん、おばさんも、いろいろな舞台で活やくしているよ。

年れいも仕事もちがうけれど、お題目をあげて勇気のことを燃やしながらか、それぞれの場所ではがばっているんだ。

そんな学会員のみなさんが、同じ心で目指している目標があるんだ。

それは「自分も周りの人も幸せに」という大きな願いだよ。

今回学ぶのは、そのことを教えられている御文だよ。



はじめに言葉の意味を確認しよう!

「一身の安堵」とは「自分の幸せ」のこと。「四表」は「自分の周りの世界」のことだよ。そして「静謐」とは

「平和」のことなんだ。

日蓮大聖人は「自分が幸せでいたいなら、周りの人の幸せや、世界の平和を祈っていくことです」と教えられているんだよ。

ちょっと、むずかしいかな?

つまりね、みんなが幸せになるためには、安心して暮らせる社会、平和な世界であることが、とっても大切ってことなんだ!

この大聖人の心を受け継いで、世界の平和のために祈り、行動しているのが、創価学会の一人一人だよ。

みんなのお父さんやお母さんをはじめ、学会の同志のみなさんは、池田先生と共に「平和の世界をつくっていこう」と、毎日がんばっているんだ。

それじゃあボクたちにもできる平和の挑戦はあるかな? 池田先生は、こう教えてくださっているよ。

「平和の心といっても、むずかしく考える必要はありません。友だちと仲良くしていこう、元気にあいさつをしよう、『ありがとう』を言おう、困っている人に声をかけよう——全部、平和の心です」

ボクたちも、自分らしく「平和の心」をかかえながら、友情を広げていこうね!